

# レースにあたっての審判上の諸注意

第45回信毎諏訪湖カッター・第23回全国ナックルフォア大会（2022/5/21～22 下諏訪ローイングパーク）

今大会は、日本ボート協会競漕規則(2022/4版)及び大会要項に基づいてレースを運営しますが、以下の諸注意や追加の適用事項等を守り、レースに臨んで下さい。

## 1 健康について

各クルーは健康管理に十分注意を払い、万全の状態で開催に参加できるよう心がけて下さい。また今大会はコロナ感染を防止すべく、さまざまな対策をとるよう指示されていますので、それを遵守するようにして下さい。体調不良等の場合は、最寄りの審判員もしくは役員に申し出て下さい。

まだまだ気温も水温も低い時期ですから、これらへの対策も怠らないよう気をつけて下さい。

## 2 事故防止と安全確保について

- (1) 各クルーおよび参加者は事故のないよう常に安全確保に努め、安全第一で行動してください。安全については、各クルーがまず自主的に対策を十分に施して下さい。
- (2) 出艇時にはコースを横切ることになるので、レースの状況を注視するなど、安全に十分に注意して下さい。特に発艇 2 分前から発艇位置に設置されたパトライトが点灯するので、その間はコースを横切らないで下さい。これに違反するとイエローカードを与えます。
- (3) レース前の練習については、練習水域では航行ルールを守り、周囲の安全を確認の上注意して行って下さい。決められた水域以外には行かないこと。また、気象の変化や風・波等に注意し、大会本部・役員から指示があればこれに従って下さい。
- (4) スタート地点への回漕中、レース艇が来たときは、必ず 100m 手前で止まり、レース艇が通過するのを待って下さい。これに違反するとイエローカードを与えます。
- (5) レース中、クルーの安全が確保できない状況や危険が生じた場合、もしくはそれが予想された場合、レースを中止することがあります。クルーの安全を第一に考えたレース運営を行うことを理解しておいて下さい。

## 3 各種手続き(届け出)について

- (1) 棄権・メンバー変更・ブレード変更の手続き(届け出)は、競漕委員会へ定められた時間までに所定の手順に沿って行ってください。舵手計量は所定の場所で行います。
- (2) シート変更(漕手間の変更)については事前に届け出る必要はありません。

## 4 舵手計量について

- (1) 基本的に監視は行いません。舵手計量のみ行います。中学生及びナックルフォアの舵手計量はありません。
- (2) 舵手の計量は毎日、出漕する最初のレースの 2 時間前から 1 時間前に舵手計量所(監視所)で行います。舵手の計量はユニフォームのみで行います。
- (3) 規定の時間内に舵手計量を受けなかったクルーはレッドカードを与え予選から除外とします。1 日目を含む毎日の舵手計量は、規定の時間を過ぎることは認められず出漕できなくなりますから、時間を厳守してください。尚、この件に関する呼び出しの放送は行いませんので、各クルーとも十分に注意しておいてください。

## 5 ユニフォームの統一について

- (1) 各クルーとも統一したユニフォームを着用し、不ぞろいな服装をして出漕してはいけません。アンダーシャツ・タイツ・靴下等も統一して下さい。統一されたユニフォーム・同じ服装とは、「外見がまったく同じもの」ということですから、とくに色あせ、迷彩模様・幾何学模様等の服装は注意してください。また個人名・イニシャルやポジション名の記載等は認められません。舵手はクルー内で統一したユニフォームに加えて漕手が着用していない衣服を着用してもよい。但し、気温が低い時の防寒が目的であるため誤解のないようにして下さい。
- (2) 帽子・はちまきについてはクルー内で着用する者としめない者があっても可とします。但し、着用する場合は漕手・舵手とも同じものを着用しなければなりません。
- (3) ナックルフォアのレースに参加するクルーで、競漕委員会の特別な許可を得てユニフォームが不統一のクルーは、必ずパウとコックスの背中に B5 サイズのゼッケンを付けてください。

## 6 コースへの進入について

コースへの進入について前のレースがスタートし 100m を通過すると、発艇員は次レースのクルーをコースへ呼び込みます。その呼び込みを受けてから、指示されたレーンに速やかに進入してください。前のレースがスタートしたら、速やかにコースに進入できる位置で待機しておいてください。

## 7 発艇定刻の厳守と発艇について

- (1) 出漕クルーは発艇定刻2分前までに所定の発艇位置(ステイクポート)に着かなければなりません。特段の事情がない限りこれに遅れた場合はイエローカードとなります。艇の故障等で発艇定刻に間に合わない場合、必ず最寄りの審判員に申し出て指示を受けて下さい。許可なく遅れ、レースに参加できなかったクルーはDNSとなり、以後の全ラウンドに出漕できません。
- (2) 発艇定刻2分前になったら、いつでも発艇できるように準備し、各クルーの責任で進行方向を定めておいて下さい。風波等の状況によりクイックスタートで発艇する場合があります。

## 8 レース中の注意について

- (1) スタート直後を含め、レース中に艇の故障及びオールの破損等が生じた場合でも特別な措置(再レースなどの救済措置)はありません。故障や不具合が生じないように十分に点検しておいて下さい。
- (2) すべてのクルーは、自己のレーンを進行し他のレーンを侵害、もしくは他艇を妨害してはなりません。レース中、主審は障害物の出現や、他レーンに侵入して他艇と接触・衝突等の危険が切迫しているクルーに対し、レース状況によっては白旗を掲げ、「〇〇止まれ！」等のコールをし、当該クルーのみ競漕を一時中止させることがあります。この場合、主審の指示に従い、危険を回避した後、再び競漕に復帰して下さい。
- (3) 主審艇がレース状況により、極端に遅れたクルーを追い越すことがあります。この場合、追い越されたクルーは波をかぶることもあります。容赦して下さい。

## 9 レース中の転覆・選手の落水について

- (1) 水温がかなり低い中での大会ですので、シングルスカル選手が転覆・落水した場合、またダブルスカル艇・クオドルプル艇が転覆した場合、危険と判断し即座に救助します。この場合、DNF(途中棄権)となりますが、安全第一、人命優先ですのでご了解下さい。
- (2) 万一の落水時、ストレッチャーから足が抜けず、危険な状況も想定されます。靴がストレッチャーからすぐに脱却するもの以外は、ヒールロープ(適切な長さにしておくこと)を結んでおくこと、靴ひもを締めすぎないことに注意して下さい。

## 10 指導・警告・除外とその取扱いについて

- (1) クルーが違反・不正行為等を行った場合、指導や警告(注意・イエローカード・レッドカード)を与えます。同一ラウンド内(レース前の回漕および練習中を含む)でイエローカードを2回与えられるとレッドカードとなり、レッドカードを与えられると除外となります。イエローカード・レッドカードが与えられるときは、審判より該当色のカードが提示されます。
- (2) 大会期間中の航行ルールを守らなかった場合(やむをえない状況を除く)、指導や警告を与えます。また、あらかじめ定められていない事柄でも、審判が対象と判断した場合、イエローカードやレッドカードを与えることがあります。
- (3) 与えられたイエローカードはレース成立で効力を失いますが、その後の回漕中にイエローカードを与えられた場合、次レースがあるときには、そのイエローカードは持ち越すものとします。
- (4) 予選において、スタート前やスタート直後およびレース中にレッドカードを与えられ除外となったクルーは、敗者復活戦への出場を認めず。この場合、他のクルーとの公平を期すため、予選レースで全距離を漕了させます。尚、この際にまじめな態度及び正常な競漕速度で漕了しない場合、接触・妨害を起こした場合は失格とします。

## 11 レース終了後について

- (1) 決勝線を通過したクルーは、全クルーが決勝線を通過したのちに主審が旗を掲げるまで、付近で待機しておいてください。なお、主審は決勝線手前の位置にあっても旗を掲げる場合がありますから、注視しておいてください。
- (2) レースに対する異議がある場合は、主審が旗を掲げる前に手を挙げて主審に申し出てください。主審から白旗が揚がった場合は、レース成立を意味するのでそのまま帰艇棧橋に戻ってください。しかし赤旗が揚がった場合は、レースに何らかの問題があったことを示しますから、その場にとどまって主審の指示を待つようにしてください。

## 12 その他

無線通信機器(携帯電話・トランシーバー等の外部と通信できるもの)の艇内への持ち込みは厳禁です。失格となりますので注意してください。